

県民のみなさんへ

熊本県知事 細川護熙



さわやかな風が、野山を渡りはじめ、実り豊かな秋の訪れとなりました。
我が郷土熊本は、山に海に自然の恵みが満ちあふれ、県下のあちこちから祭りのにぎわいが聞こえます。去る八月のロサンゼルスオリンピック大会では、皆様ご承知のとおり

り、本県出身の山下泰裕選手が足の負傷にもめげず、国民・県民の大きな期待に応えて見事金メダルの栄冠に輝きました。このことは、私たち熊本県民の誇りとするとところであり、早速、今回新設した県民栄誉賞の第一号を贈り、皆様と共によろこびましたところ です。

さて、このたび県では、来るべき二十一世紀を前に、熊本県の将来の発展方向を考えて、強い熊本づくりを目指した「熊本・明日へのシナリオ」を策定しました。

このシナリオでは、「活力」、「個性」、「潤い」の三つの柱を基本理念として、

- (一) 明日に挑む農林水産基地
- (二) 活力に満ちた商工業拠点
- (三) 世界に開く技術・情報都市
- (四) 明日を拓く人材の森
- (五) 地域で育む明日の福祉社会
- (六) 潤いのある文化の源
- (七) 活力と個性ある郷土

以上七つのくまもと像を掲げ、重点的に取り組むこととしています。

これは、大きな時代の転換期にさしかかった今日、県民あげて何をなすべきかを考え、実行するよすがとしてのシナリオであります。新しい可能性に挑戦する県民全体の実行計画として活用していただきたいと願っています。

県政トピックス

これからも頑張る。熊本県警三十周年記念式典開催。



今年、熊本県警察が創立されて三十周年にあたる。これを記念して七月四日、県庁地下大会議室に関係者五百人余りを集めて記念式典が開催された。浅野県警本部長のあいさつのもと、警察協力功労者に対して感謝状贈呈などが行われた。夏の夜を彩る。ふれあう心のつどい「夏まつり」

テクノポリスへ新しい仲間。フアナツク菊陽町へ進出。



七月十六日、世界最大のNC(数値制御)工作機器メーカー「フアナツク」と菊陽町の進出協定調印式が、県庁で行われた。フアナツクは「九州テクニカルセンター」を設立し、地場企業に技術指導などを行う予定。



国際交流がまた広がる。姉妹校提携に調印



七月二十一日、身体障害者福祉センター・グラウンドで、約五千人を集めて行われた。身体障害者と地域住民とのふれあいを深めようと、国際障害者年に始まったこのまつりも今回で四回目を迎えた。



七月二十四日、熊本商大付属高校と韓国忠清南道の青蘭女子中・高校の姉妹校提携調印式が行われた。青蘭女子中・高校は生徒数約二千四百人、進学率も高い有名校。今回の姉妹校提携は県と忠清南道の姉妹提携を機に、話が進められていたものである。

緑の旗手たち阿蘇に結集。緑の少年団。全県のつどい。

八月七、八日の両日、阿蘇町・坊中野営場で開かれたつどいでは、団員約五百名が参加し、集団訓練や野外活動などが行われた。来年五月実施される全国植樹祭での活躍を目指し、子供たちは真黒に走って阿蘇の野山を走り回った。



今年もイベントがいっぱい。大型観光キャンペーン始まる。

七月二十一日、阿蘇神社「神々の宴」を皮切りに、今年も大型観光キャンペーンが始まった。この日、阿蘇いこの村では阿蘇国際彫刻シンポジウムがスタート。二か月間にわたり、国内外の一流彫刻家十人が腕を競った。



県民が熱狂したオリンピック。山下選手に「県民栄誉賞」

先のロサンゼルスオリンピックで矢部町出身の山下選手は、右軸足を痛めながらも決勝に進出、エジプトのラシヌワン選手を、横四方固めに破り、柔道世界最強の座に着いた。県は、県民に希望と活力を与えてくれた今回の業績をたたえ、八月二十五日山下選手に第一号の県民栄誉賞を授与した。